

(別 紙)

2021年度事業計画

1 事業方針

新型コロナウイルス感染症は社会の生活様式を一変させ、農業分野においても労働力確保対策や外食需要の低下など多岐にわたる影響を及ぼした。

観光農園や農家民宿、農産物の加工販売では、来園自粛やインバウンドの消滅により、収穫できない作物の余剰や売上げの大幅な減少といった問題が顕在化し、多様な経営課題を乗り越えていかなければならない。

一方で、コロナ禍を契機とした地方回帰として、地方への就職や移住の動きが目立っている。都市農村の交流深化を一つの趣旨とする農のふれあい交流経営者協会としても、こうした動きに着目することが重要である。

2021年においてもコロナ禍の早期収束は見通せないなか、観光農園や農家民宿、農産物の加工販売、消費者との交流等に先進的に取り組む経営者組織である「農のふれあい交流経営者協会」は、相互研鑽に励み、新たな生活様式のもと消費者や地域とのふれあいを通じて自らの経営を展開させるとともに農業・農村の発展に寄与していくものとする。

以上のことから、農のふれあい交流経営者協会は次のことに取り組むこととする。

2 事業計画

(1) 諸会議の開催

①通常総会

今年度の事業計画・収支予算等を協議・決定するため、総会を開催する

②役員会

事業方針及び重要事項について協議するため、役員会を開催する。

(2) 研究会の開催

優良経営の視察や会員の情報交換の促進を図るため、現地研究会やウェブ研究会を行う。

(3) 女性や青年後継者の交流促進

経営を担う者として、女性や青年後継者も含めて、広く会員相互の交流を促進する。

(4) 全国農業経営者研究大会等への参加

全国農業経営者協会等が主催する全国農業経営者研究大会をはじめとする各種企画に協力するとともに会員に参加を呼びかける。

(5) 情報活動の実施等

全国農業新聞等への記事掲載やホームページ・SNS等の活用により、都市農村交流をめぐる動きや会員の動向等について情報発信し、都市農村交流の発展に寄与する。また、農業の魅力や当協会の活動について、消費者に向けたPR活動を実施する。

(6) 要望等の農政活動

都市と農村交流の確立・社会的地位の向上のため、関係各方面との折衝、懇談会などを実施する。

(7) 会員への情報発信

上記活動で得た知見や農政情報などを共有するため、会員に対してメール等で定期的に情報発信を行う。